

切り取ってご利用ください

日光創新博覧会 美術篇1 「四季の彩りに」 - 小杉放菴

昨年に引き続き、美術館が所蔵する膨大な点数の「小杉放菴の寫生画(しゃせいが)」の紹介を中心とした展示を行います。

今回は、日光市総合計画の中に位置づけられた将来像にもある、「四季の彩りに」をテーマとして、小杉放菴の作品の中から、特に、四季の変化を反映した、日本の豊かな自然を感じさせる作品を選び出し、その細部にまで行き届いた観察眼の鋭さやデッサンの正確さ、繊細でありながらめりはりも利かせた線描の技術などをお楽しみいただきます。

また、野鳥や植物の研究者の方たちにご協力いただき、モチーフについての生態面からの考証も併せてご紹介します。



小杉放菴の寫生画より「とち」

会 期：6月4日(土)～7月18日(月・祝)
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入 館 料：一般…700(300)円、大学生…500(200)円、高校生以下…無料
※()内は市民割引券を利用した際の料金です。



小杉放菴記念日光美術館

参加者の
声でつなぐ

公民館の教室・講座紹介

②ストレッチ教室(藤原公民館)

藤原公民館のストレッチ教室は、全4回の教室を、鶏頂山、川治、小佐越、高德の4つの会場で開催します。日本3B体操協会の公認指導者資格を持つ吉原幸子さんが講師を勤め、無理なく取り組めるような配慮をしてくれました。

教室は毎回参加者が変わるのですが、その都度、参加者の性別や年齢も異なりますが、最初にゆつくりした速さで体の動かし方を習い、その後、音楽に合わせて習った動きを行います。そして参加者の体力などを考慮して休憩を何度か入れながら、教室は約2時間続きます。

取材に伺った川治会場での教室は、60～80代の11名が参加しました。



ストレッチ教室の様子。



教室は笑顔が絶えません。



講師の吉原幸子さん。

そこで、教室に参加した山田文枝さん(川治温泉川治)にお聞きしました。

Q 教室を何で知りましたか?
A 老人会の会長から声をかけていただきました。

Q 参加理由を教えてください。
A 家にいるとテレビを見ていることが多いので、みんなと交流するのが楽しみです。

Q 教室の感想を聞かせてください。
A とても楽しかったです。実は、この教室には毎年参加しています。ストレッチは普段の生活でも役に立ちますからね。ストレッチ教室は、参加者の笑顔があふれる、そんな楽しい教室です。

市民文芸

川柳 選者 日野原元児

美辞麗句底に正論忍ばせる
大島仁章
気がつけば同じ歩幅の父と母
新家 守
ふるさとで完結編を練り直す
斎藤康則
足元の花に気付いた散歩道
吉新勝夫
逆転へ残り時間を止めに行く
野口一徳
いつもよりよくしゃべる子の通知表
吉田貴博
子離れをしると人には言っている
福田英子

俳句 選者 須藤火珠男

春眠を許さぬ余震続きけり
白土武夫
廃校の丘うらうらと揚雲雀
渡辺ミチ子
墨匂う塔婆抱きて彼岸道
徳本英子

羅漢様春光浴びてよく笑う
櫻沢絵一
夫と歩す見上げる桜大樹かな
鈴木キヌ子
ゆずり合ふ山間バスに春の風
植田義雄
原発の恐怖の中でも桜咲く
福田美代子

歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(市図書館隣) ☎226217
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)
休館日 毎週月曜日、祝日



企画展示資料紹介③ いせや今市店開店関係記事

昭和40年代の旧今市市の商店は、比較的大きな店舗もあつたものの、まだまだ個人経営の小売店が主流でした。昭和47年、大型店舗の「いせや」が東武下今市駅付近に進出することが決まり、翌年12月2日、いせや今市店が開店しました。開店翌日の新聞には、早朝から行列ができ、交通渋滞が発生したと記されるほど大変な賑わいだったようです。

「今市初の大型店」と報道されたいせや今市店の進出に対して、市街地の商店経営者らは大型店舗と共存を図ろうと、かねてより計画していたアーケードを設置する



開店日のいせや今市店のにぎわい。

など市街地の景観も変化しました。また、開店以後、徐々に大型店舗が増加していくことになりました。いせや今市店の開店は、今市地域の商業の歴史において一つの画期となるものであり、昭和40年代を代表する日光市域の出来事の一つであつたといえます。

◆刊行物案内① 日光関係新聞記事資料 昭和41～45年編(頒価1,000円)

昭和41年～45年の日光市域に関する新聞記事約1,800編を収録した資料集です。旧今市市庁舎建設や東武日光軌道線の廃止、野岩鉄道着工、国民宿舎かじか荘の建設、栗山東照宮の創建など、各地域のさまざまな出来事について、新聞記者の生き生きとした文章とともに振り返ってみませんか。

◆催し◆ 絶滅危惧種カラノギク植栽

7月2日(土)午前10時30分から日光だいや川公園駐車場に集合

短歌 選者 阿久津伸一

天が地が海が汚染にさらされて帰る術なき人ぞ哀しき
北崎 君
被災地の映像テレビで観るたびに心の痛み今日も涙す
渡辺文夫
男体山に傘雲かかり天高し崩落跡に光る残雪
植田義雄
震災の鬩深かるも日光の街の並木に咲く赤やしお
白土武夫
うら寒き畔に腹はいよもぎ摘む愛しき孫を想い浮かべつ
伊藤悦子
山茶花の垣根に咲けるくれないの色は切なき恋の色なり
村田登美
濁流が田畑を家を呑みこめり魔物がおそいかかる如くに
大森トミ子

作品を募集しています!

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、ご応募ください。
応募先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135 ㊟(21)5109